

チャレンジデー 3年連続金メダル獲得 国保税率引上げへ

6月議会定例会が6月14日から17日までの4日間にわたり開催され、株式会社藤里開発公社の経営状況報告や、一般会計補正予算案など上程された20案件について原案どおり可決されました。



行政報告

◇チャレンジデー

地域住民の健康づくり、まちづくりを目的としたスポーツイベント「チャレンジデー2016」が、今年も5月の最終水曜日であり、25日に全国一斉に開催され、本町も3回目の参加となりました。

当日は、あいにくの小雨にもかかわらず、多くの町民が早朝からウォーキングやゴミ拾い、ミニ運動会など、おもしろいおもしろいスポーツを興しながら参加していただきました。また、仮装ウォーキングで参加してくれた藤里小学校児童の歌声とエールは、町民の胸に響き、勇気と元気を与えてくれました。結果につきましては、全町で

3,084人が参加、参加率は昨年より2.8%上回る87.2%を達成、3年連続の金メダル獲得となりました。対戦相手の青森県新郷村には、残念ながら勝利することはできませんでしたが、各団体や企業のご協力と、婦人会のきめ細かな活動はもとより、藤里町民の「やる気度」が反映されたすばらしい結果であり、町民の皆さまに改めてお礼を申し上げます。

◇国民健康保険税の税率

先の3月定例会において、説明しておりました国保における平成28年度当初予算は、平成27年度の医療費が近年にはない大幅な増となっていたことから、医療費の伸びを加味していない予算としておりました。昨年の所得が確定したことにより、基金残高の状況などから本定例会に一般会計繰入金金の補正予算を計上させていただいた次第であります。

今年度の医療費につきまして、平成27年度の医療費があまりにも突発的な高額療養費となったことから、平成27年度を除いた過去3年間の医療費実績の平均

均値に伸び率の平均101.7%を加味して推計したところであります。

また、昨年の所得は微増となっておりませんが、一般被保険者の減少などから収増は見込めない見通しとなっております。

このことにより、現行税率で保険税を試算いたしますと、44,104千円ほど歳入不足が予測されます。これらを踏まえ、先の国保運営協議会において協議した結果、平成27年度決算については、国庫支出金、県支出金や高額療養費共同事業交付金等が思ったより増額されたため、基金の取り崩しが51,000千円の予算に対して6,000千円で済み、基金として55,000千円ほど残すことができ

ました。しかし、この基金をすべて予算化した場合、前年度のような医療費の急伸等の緊急時に対応できなくなることが想定されるため、大変恐縮に思いましたが、不足額の約4分の1に当たる11,104千円を税収増でまかない、基金から18,000千円、残りの15,000千円を一般会計からの法定外繰り入れで対応することとしたところであります。

平成21年度から税率を据え置いてきた訳であります。平成30年度における秋田県が保険者となる制度を見据えますと、標

準税率は上がるものと推測され、被保険者の急激な負担増が懸念されており、税率項目の中の資産割は採用されないことになっております。よって、今年度の税率は医療費の所得割を0.55%均等割を6,300円引き上げ、資産割、平等割は据え置き対応したいと考えております。

同じく、後期高齢者医療支援分、介護分につきましては、引き上げ率は異なりますが、所得割、均等割を引き上げ、資産割は据え置きます。平等割につきましては、地方税法による標準割合に近づける必要があることから、逆に後期高齢者医療支援分で900円、介護分で2,000円を引き下げの方針であります。

◇農林業関係について

今年の稲作は、春先に、気温のやや低い日もありましたが、育苗期間をとおして、概ね平年並みからやや高く経過したこと、から、苗の生育は順調でしたが、一部では被覆時の高温によると思われる、苗立枯病の発生が確認されました。

4月は、平年より、やや降雨が多かったものの、その後の好天により、耕起作業から田植え作業まで、概ね順調に推移して